2018年度　環境活動レポート

近畿産業株式会社

（2018年10月～2019年9月）

発行日：　2020年1月23日
更新日：　2020年3月28日

□ごあいさつ

紙は人類にとって、また、すべての生き物にとって大切な資源なのです。　今、日本では国産木材、輸入木材合わせて約3000万平方メートルもの木材を消費しています。当社では次世代に残す豊かな地球環境づくりのため、紙をリサイクルする仕事に携わっております。我々自らが環境活動に積極的に関わることにより、豊かな地球環境づくりをより確かなものにしていきたと考えております。

近畿産業株式会社
代表取締役　　傍島真

環 境 方 針

＜環境理念＞

環境保全が経営の重要課題であることを踏まえ環境経営システムを構築・運用し社員一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に継続的に取り組みます。当社、近畿産業株式会社は古紙リサイクル事業を通じて社会貢献すると共に、その事業活動における環境負荷の低減のための活動に取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

１．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

２．電力及び軽油の二酸化炭素排出量の削減。

３．廃棄物の削減及び再資源化の推進。

４．水使用量の削減。

５．環境に配慮した資材の購入。

６．古紙等一般廃棄物処理の再資源化の推進。

７．自然食品の販売促進及び廃棄物ゼロの継続。

８．地域社会への環境教育の推進。

制定日　　2011年3月1日
改定日　　2014年4月14日

代表取締役社長　　傍島　真

□事業所の概要

1　事業所名及び代表者名

近畿産業株式会社

代表取締役社長　傍島　真

2　所在地

本社:大阪市北区中崎2－3－12　　（登記上）

本社工場:　大阪市北区南扇町3－23

長田工場:　東大阪市長田西5－3－1

3　環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者　大谷寿美恵　　TEL：０６－６３１４－３１４１

担当者　岡田達也（現場　濱本雅夫）

宮本裕子（現場　松本英次）

4　事業内容

製紙原料の集荷別選別加工販売

機密文書の細断サービス

産業廃棄物収集運搬

自然食品の販売

貸室

5　事業の規模

創業　明治18年

資本金　5千万円

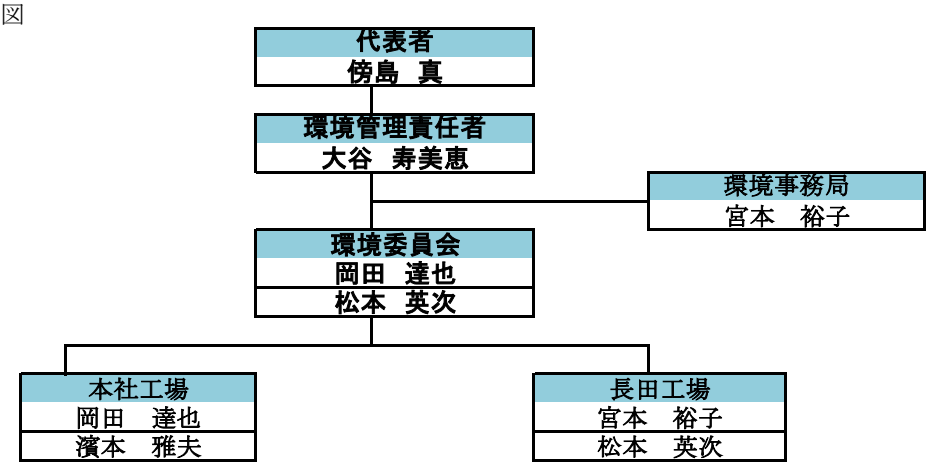
売上高　450万円

製品出荷量　４．２万トン

	本社	本社工場	長田工場	合計
従業員	1名	12名	5名	18名
延べ床面積	375㎡	990㎡	1980㎡	3345㎡

6 事業年度　10月～9月

7 環境経営システム組織図



8 製紙原料の処理概要

① 主要設備

大型圧縮梱包機　(50t/日)　2台

機密文書破砕機　1台

② 処理フロー

収集運搬 → 選別（破砕） → 圧縮 → 販売

→ 社外処理

9 産業廃棄物収集運搬業の概要

① 受託した産業廃棄物の処理量　4 トン

② 車両台数

車種	台数
２ｔパッカー車	1台
４ｔトラック	2台
２ｔトラック	2台
フォークリフト	7台
合計	12台

③ 許可の内容

許可の区域		許可番号	許可年月日	許可有効期限	許可の種類	積替保管
大阪府		第02700015195号	H31.3.4	R6.3.3	1.廃プラスチック　2.紙くず 3.木くず　4.繊維くず　5.ゴムくず 6.金属くず　7.ガラスくず 8.がれき類	なし

④ 処理料金
処理料金については、引取場所、品目等により異なりますので、
営業部（電話：06－6314－3141）までお問い合わせ下さい。

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 近畿産業株式会社
対象サイト： 本社工場
長田工場

活動： 製紙原料の集荷別選別加工販売
機密文書の細断サービス
産業廃棄物収集運搬
自然食品の販売
貸室

□主な環境負荷の実績

（６９期）

項　目	単位	2016年	2017年	2018年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	147,336	126,127	147,378
廃棄物排出量（合計）	kg	149	186	162
一般廃棄物量排出量	kg	149	186	162
産業廃棄物排出量	kg	0	0	0
総排水量（使用水量）	m^3	555	513	566

※使用電力の二酸化炭素排出係数　0.531　kg-CO2/kWh

□環境目標及びその実績

項　目 ＼ 年　度		基準値 基準年	2018年 （目標）	2018年 （実績）	2019年 （目標）	2020年 （目標）
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年度比	123,600 2015年	117,420 95%	104,925 85%	116,184 94%	114,948 93%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年度	41,421 2015年度	40,178 97%	42,454 102%	39,764 96%	39,350 95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	165,020	157,598	147,378	155,948	154,297
一般廃棄物の削減	kg 基準年度比	148 2015年	89 60%	162 109%	89 60%	89 60%
廃棄物の削減（ﾊﾞﾝｾﾝ）	kg 基準年度	1,460 2015年	1,416 97%	1,300 89%	1,402 96%	1,387 95%
水道水の削減	m^3 基準年度	637 2015年	612 96%	566 89%	605 95%	599 94%
グリーン購入の推進		2016年	目標設定			
機密文書細断サービス	トン 基準年度	122 2015年		103 84%	139 114%	140 115%
自然食品の販売促進及び廃棄物ゼロの継続			取組推進	取組実施	取組推進	取組推進

□環境活動の取組計画と評価・次年度の取組内容

◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画		達成状況（本社・本社工場）	達成状況（長田）	評　価（結果と次年度の取組内容）
電力による二酸化炭素排出量の削減				
シュレッダー機の効率的運用		○	○	目標達成できている。節電への意識をこのまま維持することを今後の目標とする。
クールビズ運動冷房２８℃		○	○	
ウォームビズ運動　暖房２０℃		○	△	
ベーラー機の空運転防止		対象外	○	
OA機器の省エネモード設定		○	○	
買換え時水銀灯をLED型に交換		○	○	
昼休み事務所の照明は消灯する。		○	○	
（本社２階・長田のみ）		―	―	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減				
フォークリフト・トラックの軽油		△	△	目標達成できていない。回収時のルート選定やスケジュールの組み方をもう一度見直す。
アイドリングストップ		○	○	
急加速・急停車の防止		○	○	
冷暖房の控え目使用		○	○	
効率のよい集荷の推進		○	対象外	
一般廃棄物の削減				
袋単位での集計		◎	△	達成できていない。担当者による声掛けや分別の徹底が必要である。 次年度から目標の変更をする必要あり。
空き缶、ペットボトルは分別を徹底		◎	○	
OA機器故障時にはなるべく修理して使用		対象なし	対象なし	
廃棄物の削減（バンセン）				
作業ミスによる廃棄量の測定		◎	○	ほぼ達成できている。作業ミス防止への意識付けをより強化することを目標とする。
作業ミスの分析		対象なし	対象なし	
作業ミス防止の改善		○	○	
鉄としてリサイクル		○	○	
水道水の削減				
節水シールでの喚起		○	×	ほぼ達成できている。これ以上の目標数値は限界と思われる。
手洗い数量の適正化		○	○	
グリーン購入の推進				
グリーン購入対象品目調査		○	×	特に変更なし。
冷蔵庫・エアコン・トラック・蛍光灯		○	○	
省エネ達成商品の購入		○	○	
機密文書細断サービス				
営業力強化(チラシ配布)		○	○	目標達成できていない。
持込業者への声かけ		○	○	
自然食品の販売促進及び廃棄物ゼロの継続				
無農薬野菜の仕入・販売		○	対象なし	仕入れた食品はすべて販売・消費しており、食品のロスはない。
無添加食品の仕入・販売		○	対象なし	
食品廃棄物ゼロの継続		○	対象なし	

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制		適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法		収集運搬業、一般廃棄物、産業廃棄物（金属ｸｽ、廃プラ等）
消防法（指定可燃物）		古紙の保管
フロン回収破壊法		なし
フロン排出抑制法		あり
NOx・PM法、自動車流入規制		トラック
食品リサイクル法		食品販売
自動車リサイクル法		営業用乗用車、トラック

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
食品はすべて売り切る為、廃棄物は発生いたしません。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去３年間ありません。

□代表者による全体の評価と見直し

今まで実施してきたことは陳腐化している。外部環境が変わってきているので、その対応は必要。それ以上に、社員自らが環境について考えていくことが必要！

〇明治時代から続く紙の原料やさん。
　創業は明治18年。創業当時は和紙の原料である三叉などを取り扱う製紙原料問屋でした。時は変わり平成の世。
日本で使用される紙の種類が変わるにつれて弊社の扱う製紙原料も変わり、現在の形態になりました。

～再生紙、リサイクル。～普段よく耳にするその言葉のなかに近畿産業は存在します～

　使い終わった古紙を持ち込んでいただいたり、引き取ったりして弊社に集められます。しかし、新聞や雑誌、段ボールなどの様々な種類の紙を混ぜるとリサイクルが難しくなります。したがって新聞は新聞、雑誌は雑誌、段ボールはダンボールと選別してから製紙会社に出荷するという役割を弊社が担っています。

近畿産業のエコアクションの基盤

～信念と象徴～経営理念とロゴマークに込められた想い～

近畿産業の経営理念

一、　資源を大切にし、環境にやさしく人々に信頼される企業を創造する。
一、　感謝と敬愛しあえる職場を保ち、幸福な社会を創造する。
一、　常に、全社員ならびに企業の進歩向上を創造する。

●上記のとおり、3つの文章から成り立つ弊社の経営理念。
　その冒頭は資源を大切にという文言から始まります。

**　また右に記載しているのが弊社のロゴマークです。この形、デザイン、どこかで見覚えはありませんか？身近で親近感のある、お財布に入っている…そうです、1円玉をモチーフに作成されました。**

　これには「ヒト・カネ・モノすべての資源を一円たりとも無駄にしない」という想いが込められており、弊社のシンボルとなっています。

　経営理念やロゴマークに込められた想いを実現すべく、ひとりの力は僅かかもしれませんが、社員ひとりひとりのもつ力を合わせて日々業務に臨んでいます。

●それでは資源を大切にし、環境にやさしい企業であるための近畿産業の活動を紹介致します。

近畿産業の事業・取組

～従業員に身についた習慣～リサイクルの基本・分別～

近畿産業の主な事業は製紙原料となる古紙を買い取り、工場で選別し製紙会社に出荷することです。この工場で選別する作業は古紙リサイクルにおいては大きな役割を担っています。日々、業務の中では古紙を選別する従業員には自然と分別する習慣が身についているのか、ゴミの分別も徹底されています。もちろん弊社で出た古紙もすべて選別してリサイクル。一円たりとも無駄にしない精神の現れと言えるでしょう。

本社工場のゴミ箱

～気軽にECO! ～エコガレージ～

弊社の事業のひとつに一般家庭向けの新聞雑誌のリサイクルを推進するecoガレージがあります。家庭から出た新聞や雑誌などの古紙を持ち込んでいただくと、10kgにつきトイレットペーパー1つと交換します。廃品回収車等の巡回のタイミングに合わない方も気軽にお持ち込みいただけます。

～環境も機密も守ります！機密文書細断サービス～

ECOガレージは家庭向けの事業なのに対して企業向けの事業に機密文書細断サービスがあります。本社工場のある大阪市では資源化可能な紙類の焼却処分は禁止されたため、企業の機密文書や預かった個人情報を焼却処分することはできなくなりました。大量の個人情報を焼却処分することはできなくなりました。大量の個人情報や機密情報を各企業でシュレッターにかけるのは言うまでもなく莫大な時間がかかります。そんな方向けに大型裁断機で処理した後に古紙としてリサイクルする機密文書細断サービスがあります。できる限り環境に配慮しつつ個人情報や会社の機密を守ります。

たいせつにします プライバシー
20001244

～太陽光発電～

2014年長田工場に太陽光パネルを設置しました。
現在の稼働状況をお伝えしたいと思います。

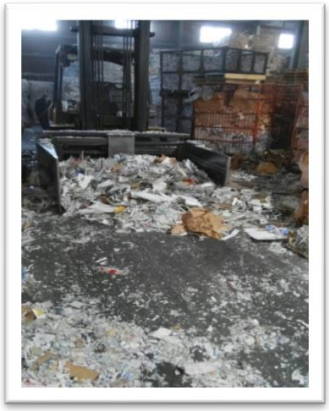
2018年10月1日～2019年9月30日までの発電電力量は67445.1 kWhで、昨年と同じくらいでした。
2019年5月が一番多く、8760.9 kWh発電されました。
2018年12月が一番少なく、3247.8 kWh発電されました。

天候や日照時間によって左右されるため、どうしても多く発電できない月があるなど、変動がありますが、太陽光発電によって、少しでも環境活動に貢献できていると実感しています。

弊社のCSR活動

工場内外の清掃活動

「近隣に住まわれている方々にご迷惑をお掛けしない」ということを大切にし、工場内外の清掃活動をより一層、徹底的、かつ積極的に行うように社員一同日々取り組んでいます。
工場内で散乱した古紙は、大型リフトの力を借りて一気にかき集めることで効率よく清掃しています。
そしてそのまま機械に入れ、リサイクルの原料として出荷しています。



清掃前

清掃後

山陽製紙さんへ工場見学に行ってきました

2019年2月に山陽製紙さんに工場見学をさせて頂きました！
山陽製紙さんは工業用クレープ紙という高機能再生紙を製造している会社です。

お客様に持ち込んで頂いている古紙、自社で引き取っている古紙がどのようにして新しい紙へと再生しているのか実際に見させて頂きました。

①古紙は水と攪拌し、原料の状態にする

②大きいロールにする

③ロールは、用途などに合わせて様々な大きさに切り分けられ、お客様の元に届きます。

簡単に書かせて頂きましたが、シワをつける、などといった様々な工程を経て、再生紙が出来上がると教えて頂きました。
ベーラーが出荷された後、どのようにして再生紙になっていくのかを見ることができ、貴重な体験となりました。

植樹祭に参加してきました

2019年3月に同友会でのイベントで植樹祭に参加させて頂きました！

現代では高速道路やマンションやビルなどが建ってしまい、自然がどんどん減ってきています。
自然がなくなると地球温暖化が進んでしまいますし、木は周辺の土を引き留める役割があるので、雨が降ったとき森林がなければ、土砂崩れが起こりやすくなってしまいます。
自然はとても貴重なのです。だからこそ、人の手で自然を増やそう！というイベントです。

植樹の流れ

①木の根っこに水分を十分に含ませる→②穴を掘って肥料を入れて木を植える→③植え終えたら木を雨や乾燥から防ぐために上から藁をかける

植樹の様子

環境に少しでも貢献できる体験ができてよかったです。子供たちにとってもとても良い経験ができたと思います。

子供科学フェスティバルに参加してきました

2019年8月に子供科学フェスティバルに参加させて頂きました！
「昔ながらの紙づくり」という名前で出展し、子供たちに紙漉きを体験してもらいました。

紙漉きのやり方

①古紙を細かくちぎる
↓
②細かくした古紙と水をミキサーに入れる
↓
③ミキサーを約30秒間回し、ドロドロの状態にする
↓
④木の枠に流し入れ、指で形を整える
↓
⑤枠を外し、スポンジで水分をとる
↓
⑥新聞紙に挟んで渡す

古紙と水を混ぜ合わせた後の感触はプニプニとしています。
それを触った時の子供たちの驚き方がとても可愛かったです☆

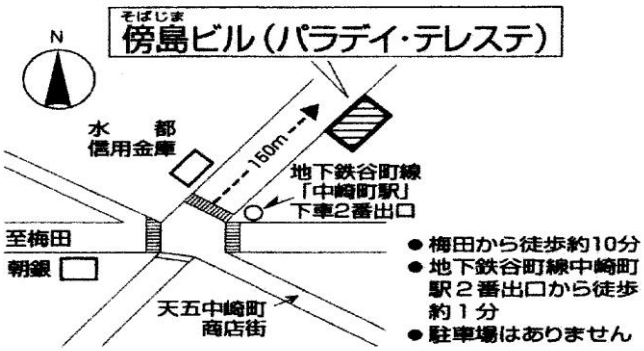
「へーこうやって作るんやー」、「牛乳パックでもできますか？」など、子供たちは興味津々でした☆
多くの子供たちに来て頂いたため、大盛況でした！

子供たちと実際に触れ合える経験はとても大事だと思いました。
また、この体験で子供たちがリサイクルに興味を持ってくれると嬉しく思います。

～都会の子どもたちが田んぼでどろんこ遊び！～ちびっこ赤目自然塾～

赤目自然農塾は三重県と奈良県の県境、室生、赤目、青山国定公園の山並みに囲まれた静かな山の棚田で、耕さず、肥料・農薬を用いず、草々・虫たちを敵にしない」という自然の営みに沿った農を実践しながら「学びの場」として開かれています。“その中でちびっこ自然農は都会の子供たちに虫や草花を愛おしむ心を持ってもらいたい、泥だらけになって体中で思いっきり遊ばせたい。普段食べているお米は農家の方はどんなふう作っているのか、食の大切さを感じてほしい。”そんな思いを持ったお母さん達によって立ち上げられたちびっこ赤目自然塾を近畿産業は応援しています。

～食を通して環境を改善したい！～パラディ・テレステ～

パラディ・テレステとは大阪市中崎町にある自然食品店で、無農薬野菜や有機米、天然酵母パン、健康食品など幅広く取り揃えています。安全、安心な食品を提供することを通じて社会に貢献します。

会場への道順